

# 地域おこし協力隊 阿部洋司さん 2年間の活動報告と今後の展望

## 町の食材の魅力を発信



地域おこし協力隊として約2年間、レストラン「ラ・テール」においてシェフとして活動を行ってきました。コロナ禍の中でも、レストランには多くのお客様に足を運んでいただくことができ、「食を通して舟形町の魅力を発信する」という活動目標は達成できたのではないかと思います。

4月からは起業して、引き続きレストラン「ラ・テール」で地元食材を使ったおいしい料理を提供していきます。舟形町の活性化に少しでも貢献できるようにがんばっていきますので、舟形町のみなさん、今後もどうぞよろしくお願いいたします。

- 1 令和4年7月27日、地元の生産者との「ランチ交流会」での提供料理
- 2 令和5年2月24日、舟形町食生活改善推進協議会研修会での調理実習



舟形町のみなさんありがとうございました。  
そしてこれからもよろしくお願いいたします！

## 令和5年度から新しい地域おこし協力隊 佐藤浩二さんが舟形町にやってきます

仙台市出身の佐藤浩二と申します。一度舟形町を訪れた際に、自然豊かな景色の虜になり、いつか舟形町で働きたいと思い、「観光コーディネーター業務」のテーマのもと地域おこし協力隊として活動することになりました。町の魅力をどんどん発信していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。早くみなさんの仲間入りをしたいと思いますので、見かけましたら気軽に声をかけてください。



▼問い合わせ／舟形町まちづくり課地域支援係 ☎(32)0104



## 2050年までに二酸化炭素 実質排出ゼロを目指す 『ゼロカーボンシティ』を宣言

2月27日、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「舟形町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

今後は、第7次舟形町総合発展計画の短期アクションプランの見直しにおいて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指した次のような施策や取組みを検討し、総合的に推進します。

また、カーボンニュートラルやまがた県民運動とも連携していきます。

## ゼロカーボンってなに？ (カーボンニュートラル)

大気中に排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの量から、森林等が吸収する二酸化炭素などの温室効果ガスの量を差し引いて、全体で実質ゼロにすることです。

## 今後の方向性

- 地球温暖化対策としての再生可能エネルギーの導入拡大・利用促進
- 省エネ住宅の普及や公共施設のLED照明化
- 電気自動車(EV)の導入などの省エネ、再生エネによる排出削減対策
- プラごみの分別回収等の資源循環の促進
- 森林整備等による吸収源対策 など



引用：カーボンニュートラルやまがたアクションプラン

## 『PICK UP!』 ゼロカーボンに向け、こんな補助金があります

支援が充実！

### ふながた楽々あったか 100歳住宅建築補助金

断熱・気密性能の高い住宅を新築、リフォーム等をする方に、その費用の一部を補助します。  
①「やまがた健康住宅」の認定証を受けるもの  
②高断熱工法への取組みを実施するもの

県内最大の支援額！

### 再生可能エネルギー設備等 導入推進補助の拡充

太陽光発電設備を導入する方・事業者に対して支援を拡充します。  
・対象システムの公称最大出力1kWあたり6万円(上限24万円)。

▼問い合わせ／舟形町まちづくり課企画調整係 ☎(32)0104